



2025年7月18日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 み の や
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 正 木 宏 和
(コード番号：386A 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取 締 役 佐 々 木 康 宏
(TEL 048-816-4550)

東京証券取引所スタンダード市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2025年7月18日に東京証券取引所スタンダード市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2025年6月期(2024年7月1日から2025年6月30日)における当社の業績予想は、以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【個別】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	2025年6月期 (予想)		2025年6月期 第3四半期累計期間 (実績)		2024年6月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率	対売上 高比率	対売上 高比率		
売 上 高	24,100	100.0	6.9	17,888	100.0	22,540	100.0
営 業 利 益	692	2.9	△28.4	469	2.6	967	4.3
経 常 利 益	775	3.2	△25.8	538	3.0	1,045	4.6
当期(四半期)純利益	432	1.8	△39.5	317	1.8	714	3.2
1株当たり当期 (四半期)純利益	144円13銭		105円89銭		238円08銭		
1株当たり配当金	10円00銭		—		10円00銭		

- (注) 1. 当社は、連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。
2. 当社は、2024年1月17日開催の取締役会決議により、2024年2月6日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますが、2024年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期(四半期)純利益を算定しております。
3. 2024年6月期(実績)、2025年6月期第3四半期累計期間(実績)及び2025年6月期(予想)の1株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。なお、当社は、基準日(2025年6月30日)を超えての新株式発行となることから、2025年6月期(予想)において、発行済株式総数の増加は見込んでおりません。

【2025年6月期業績予想の前提条件】

1. 当社の見通し

当社は、菓子小売事業を行っており、菓子専門店「おかしのまちおか」をチェーン展開しております。菓子は私たちにとって「おいしさ」や「楽しさ」だけでなく、「癒し」や「安らぎ」等の様々な感情を与えてくれる存在であり、今や私たちの日常生活には欠かせないアイテムであると考えております。当社ではキャンディ、ガム、チョコレート、スナック菓子、米菓、ビスケット等の菓子を幅広く取り揃え、より多くのお客様に楽しんでいただける菓子専門店を目指して運営しております。また、当社は、直営店舗のみによるチェーン展開を進めておりますが、全国規模の過度な出店を行わず、関東圏、中京圏及び関西圏に的を絞ったドミナント出店を基本方針とする地域密着型を重視したリージョナルチェーン展開を推進しております。

当社を取り巻く小売業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外部環境の大きな変化が要因となり、2020年3月頃から一時的な影響を受けたものの、行動制限の解除等によって、経済環境が徐々に正常化するにつれ、停滞していた人流の回復や物流網の活発化により、当社においても徐々に客足が回復し、これ以降の業績については着実に伸長してまいりました。

また、昨今の原材料価格の高騰や物価高の影響が依然として続いている状況のなか、人件費の上昇、物流費の高騰等による影響を受けているものの、現時点において商品の仕入についてはスケールメリットを活かした安定的な仕入が継続できており、売上高については客数減少等による影響は受けていないため、今後も継続的に成長していく見込みであります。

このような状況のもと、2025年6月期末においては、関東圏に161店舗、中京圏に24店舗、関西圏に23店舗までその店舗網を着実に拡大し、合計208店舗体制を計画しております。

なお、当社の2025年6月期の業績予想は、売上高24,100百万円（前期比6.9%増）、営業利益692百万円（前期比28.4%減）、経常利益775百万円（前期比25.8%減）、当期純利益432百万円（前期比39.5%減）を見込んでおります。

2. 業績予想の前提条件

2025年6月期の通期予想につきましては、当第3四半期までの累計実績に4月以降の予想数値を合算して策定しております。

(1) 売上高

当社の売上高計画は、既存店舗の売上高予測と新規店舗の出店による売上高増加予測で構成され、各店舗の売上高予測をエリアごと、月ごとに積み上げて策定しております。

既存店舗196店舗（当期中で退店した5店舗を含む）につきましては、前期の売上高実績を参考に、店舗ごとの客数・客単価の推移についても考慮のうえ、周辺環境の変化（競合店の出店や商店街の繁閑等）や店舗リニューアル等の計画に係る今後の成長性等を勘案しながら売上高予測を算出しております。

また、新規出店店舗17店舗につきましては、過去に出店した類似店舗を参考に、店舗周辺の商圈人口や、立地条件等を考慮して客数・客単価予測を立てており、これに計画営業月数を勘案して策定しております。特に、ショッピングセンター店（以下「SC店」という。）の場合は、商業施設の規模感や売場面積等を考慮して策定しております。

2025年6月期における新規出店計画につきましては、計17店舗（関東圏11店舗、中京圏5店舗、関西圏1店舗）を予定しており、概ね計画どおりに進捗しております。

以上の結果、既存店舗の売上高増加と新規出店による店舗数の純増により、2025年6月期における売上高は、24,100百万円（前期比6.9%増）を見込んでおります。そのうち、既存店舗については、2023年6月期までにオープンした店舗を対象とし、21,519百万円（前期比2.9%増）を見込んでおります。

なお、2025年6月期中に退店した店舗については、前期比較の対象として算入しておりません。

(2) 売上原価、売上総利益

当社の売上原価につきましては、主に商品の仕入高により構成されます。2025年6月期につきましては、特に輸入菓子やグミ等のSNS等で話題となる商品の仕入を充実させ、主にスポット商品※を中心とした高粗利商品の販売に注力しております。また、今後も成長が継続していくことで売上増に伴う仕入増により、より好条件での仕入や商材の確保のしやすさは今後も安定的に維持されると考えております。このような背景から、売上原価については、昨今の原材料価格の高騰により販売価格の値上げをせざるを得ない状況であるものの、その影響については比較的僅少であるとして前期対比で原価率の改善を見込んでおります。

2025年6月期における売上総利益につきましては、今後の成長を見越した当社の知名度向上による仕入先の新規開拓並びに既存仕入先各社との一層の関係性の強化、及びメーカーからの在庫品等の販路が当社のようなディスカウンターに供給されることによる売上原価改善等の要素も考慮していることから、原価率62.6%（前期比0.05%減）と見積もっております。

以上の結果、2025年6月期における売上原価は15,077百万円（前期比6.8%増）、売上総利益は9,022百万円（前期比7.1%増）を見込んでおります。

※スポット商品とは、メーカーから当社のようなディスカウンターに特価品として流通される旧規格品（規格や入数、パッケージの変更等があった商品）や処分品等に該当する商品を示しております。それらを特売価格（ディスカウント価格）にて店頭に大々的に陳列するスタイルにより、お買い得感を全面的にアピールすることで、通りがかりのお客様の目に留まり菓子を手に取ってもらいやすくするなど、購買意欲が自然と掻き立てられるような売場作りを追求しております。

(3) 販売費及び一般管理費、営業利益

当社の販売費及び一般管理費は、主に人件費と販売費（一般経費）により構成されております。

人件費については、社員とパート・アルバイトに分けて算出しており、さらに社員人件費は、店舗社員と管理本部社員に区分して算出しております。

店舗社員の人件費は、各店舗の売上高計画に対して必要な人員数を考慮し、昇給等を加味した直近の平均給与を乗じて算出しております。また、管理本部社員の人件費は、部門ごとの入退社や異動・昇格等の人員計画に基づき、昇給等を加味して算出しております。

パート・アルバイトの人件費は、各店舗の売上高計画に沿って人員数を単月ごとに策定し、店舗別の平均時給に乗じて算出しておりますが、出店計画に基づいた店舗数の増加分も考慮して算出しております。その結果、2025年6月期における人件費は3,804百万円（前期比5.9%増）で見込んでおります。

販売費（一般経費）には、主に業務委託費や地代家賃等を計上しております。

業務委託費は自社物流センターの荷役業務及び配送業務等の業務委託に係る費用であり、原材料やエネルギー資源の価格高騰に伴う物流コスト増や人件費上昇の影響を受け、上振れ基調で推移していることを考慮した結果、874百万円（前期比19.4%増）で見込んでおります。

これと同様の背景から、当第3四半期会計期間において店舗退去時の原状回復工事に係る見積りの見直しを行ったことによって資産除去債務が増加したため、減価償却費409百万円（前期比79.4%増）で見込んでおります。

また、地代家賃については、SC店の場合、売上高に応じて一定の比率が課されるため、店舗数増加による売上増を考慮して1,986百万円（前期比8.6%増）で見込んでおります。

以上の結果、2025年6月期における販売費及び一般管理費は8,330百万円（前期比11.7%増）、営業利益は692百万円（前期比28.4%減）を見込んでおります。

(4) 営業外収益・費用、経常利益

営業外収益及び営業外費用については、每期経常的に発生する実績に基づき策定しております。い

ずれも基本的には前期に比べて大きな変動要素等はないものとして、ほぼ前期並みの推移で見込んでおります。

営業外収益は、事業に供していない不動産賃貸収入等について、前期実績及び契約内容に基づいて算出しており、133 百万円（前期比 10.0%増）を見込んでおります。前期比で増加する要因は、障害者雇用に係る助成金による収入や、自社保有物件に係る契約更新料の収入を計上していることによるものであります。

営業外費用は、主に支払利息、不動産賃貸原価等を計上しておりますが、支払利息については借入金に対する支払利息の継続的な利率上昇の影響により、当第3 四半期累計期間においては上振れ傾向で推移しております。これを考慮して 49 百万円（前期比 15.7%増）を見込んでおります。

以上の結果、2025 年 6 月期における経常利益は 775 百万円（前期比 25.8%減）を見込んでおります。

（5）特別利益・損失、当期純利益

特別利益に関しては特段見込んでおりません。

特別損失につきましては、每期出店する新店のうち、初年度は減損損失の兆候判定「あり」と判定されるものもあり、当該店舗分の減損損失を過去実績から 61 百万円と見込んでおります。また、当期はさいたま物流センターの中 2 階部分の改修工事費用が発生したほか、資産除去債務に係る減損損失も合わせた結果、特別損失は、88 百万円（前期比 39.7%減）を見込んでおります。

法人税等は税引前当期純利益に法定実効税率を乗じて見積計上しております。

以上の結果、2025 年 6 月期における当期純利益につきましては、432 百万円（前期比 39.5%減）を見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。

以 上



2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年7月18日

上場会社名 株式会社みのや 上場取引所 東
コード番号 386A URL <https://www.machioka.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 正木 宏和
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐々木 康宏 (TEL) 048-816-4550
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第3四半期の業績(2024年7月1日~2025年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	17,888	—	469	—	538	—	317	—
2024年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第3四半期	105.89	—
2024年6月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、2024年6月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2024年6月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2025年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第3四半期	9,139	2,787	30.5
2024年6月期	7,682	2,500	32.5

(参考) 自己資本 2025年6月期第3四半期 2,787百万円 2024年6月期 2,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年6月期	—	0.00	—		
2025年6月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,100	6.9	692	△28.4	775	△25.8	432	△39.5	144.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年6月期3Q	3,000,000株	2024年6月期	3,000,000株
② 期末自己株式数	2025年6月期3Q	一株	2024年6月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年6月期3Q	3,000,000株	2024年6月期3Q	一株

(注) 2024年6月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2024年6月期第3四半期の期中平均株式数(四半期累計)は記載していません。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(会計上の見積りの変更)	6
(株主資本等関係)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(収益認識関係)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(1株当たり情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第 3 四半期累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化によって、雇用環境の改善が徐々に進んでいくなかで、インバウンド需要の増加が続くなど、景気は緩やかな回復基調となっております。しかし、その一方で、原材料価格やエネルギー資源の高騰による物価上昇や人件費等のコストアップにより、先行き不透明な状況であります。

小売業界におきましては、インバウンド消費の拡大や個人消費の持ち直し等の効果が見受けられるものの、原材料価格等の高止まりによる物価高の影響を受け、消費者による節約志向の影響も懸念されていることから、今後の動向については引き続き注視していく必要があります。

このような状況のもと、当社は効率的かつ収益性の高いビジネスモデルの確立と企業価値のさらなる向上を目的として、収益性を追求した出店精度の向上、内部管理体制の強化、及びコンプライアンスの推進について、継続的に取り組んでおります。

店舗運営におきましては、大手菓子メーカーのナショナルブランド商品をはじめ、輸入菓子や旧規格品等のジャンルにとらわれない商材等についても、当社のスケールメリットを活かした大量仕入を行うことによって、幅広い商品の取扱いと売場展開の精度向上を追求しております。

また、販促活動におきましては、SNS（Instagram、X等）の継続的な運用を行うことによって、メーカーとのプレゼントキャンペーンをはじめ、新店オープン情報や各種イベントやセールに関する情報をタイムリーに発信し、フォロワーのさらなる拡大と新規顧客の来店動機につなげております。

当第 3 四半期累計期間における当社の出店などの状況は、関東圏に 8 店舗、中京圏に 4 店舗、関西圏に 1 店舗を新規出店した一方で、関東圏の 5 店舗を退店した結果、当第 3 四半期会計期間末の店舗数は 204 店舗となっております。

以上の結果、売上高は 17,888 百万円、営業利益は 469 百万円、経常利益は 538 百万円、四半期純利益は 317 百万円となりました。

なお、セグメントの実績については、当社は単一セグメントのため記載しておりません。

（2）財政状態に関する説明

当第 3 四半期会計期間末における流動資産は 4,278 百万円となり、前事業年度末に比べ 1,044 百万円増加いたしました。これは主として売掛金が 259 百万円増加したことによるものであります。固定資産は 4,861 百万円となり、前事業年度末に比べ 412 百万円増加いたしました。これは主として有形固定資産のその他（純額）が 328 百万円増加したことによるものであります。

当第 3 四半期会計期間末における流動負債は 4,185 百万円となり、前事業年度末に比べ 631 百万円増加いたしました。これは主として未払法人税等が 55 百万円減少した一方で、買掛金が 613 百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は 2,166 百万円となり、前事業年度末に比べ 538 百万円増加いたしました。これは主として長期借入金金が 272 百万円、資産除去債務が 264 百万円増加したことによるものであります。

当第 3 四半期会計期間末における純資産合計は 2,787 百万円となり、前事業年度末に比べ 287 百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金が 287 百万円増加したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025 年 6 月期の業績予想については、本日開示いたしました「東京証券取引所スタンダード市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想は、当社が本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,108,145	1,357,362
売掛金	1,036,979	1,296,464
商品	919,814	1,129,813
貯蔵品	12,047	13,854
その他	157,846	482,581
貸倒引当金	△1,089	△1,669
流動資産合計	3,233,742	4,278,407
固定資産		
有形固定資産		
土地	864,061	860,544
その他(純額)	890,561	1,218,561
有形固定資産合計	1,754,623	2,079,106
無形固定資産	27,779	24,211
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,482,901	1,482,091
その他	1,186,872	1,278,326
貸倒引当金	△3,050	△2,600
投資その他の資産合計	2,666,723	2,757,818
固定資産合計	4,449,126	4,861,137
資産合計	7,682,868	9,139,544

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,084,661	1,698,334
短期借入金	1,086,660	1,149,000
1年内返済予定の長期借入金	395,048	430,047
未払法人税等	166,347	110,593
賞与引当金	27,500	110,000
資産除去債務	11,422	3,990
その他	782,874	683,670
流動負債合計	3,554,514	4,185,635
固定負債		
長期借入金	729,741	1,002,154
退職給付引当金	339,429	338,016
資産除去債務	486,202	750,866
その他	72,847	75,216
固定負債合計	1,628,220	2,166,253
負債合計	5,182,735	6,351,889
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	70,000	70,000
利益剰余金	2,257,131	2,544,794
株主資本合計	2,427,131	2,714,794
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	73,002	72,860
評価・換算差額等合計	73,002	72,860
純資産合計	2,500,133	2,787,654
負債純資産合計	7,682,868	9,139,544

(2) 四半期損益計算書
第 3 四半期累計期間

(単位：千円)

	当第 3 四半期累計期間 (自 2024年 7 月 1 日 至 2025年 3 月 31 日)
売上高	17,888,406
売上原価	11,188,281
売上総利益	6,700,125
販売費及び一般管理費	6,230,164
営業利益	469,960
営業外収益	
受取利息	663
受取配当金	3,598
不動産賃貸料	67,657
その他	32,044
営業外収益合計	103,965
営業外費用	
支払利息	11,011
不動産賃貸原価	21,403
その他	3,065
営業外費用合計	35,481
経常利益	538,444
特別損失	
減損損失	11,212
解体撤去費用	27,340
特別損失合計	38,552
税引前四半期純利益	499,891
法人税、住民税及び事業税	272,266
法人税等調整額	△90,037
法人税等合計	182,228
四半期純利益	317,663

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(会計上の見積りの変更)

当第 3 四半期会計期間において、不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、直近の原状回復費用実績等の新たな情報の入手に伴い、退去時に必要とされる原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。この見積りの変更に伴い、資産除去債務が238,353千円増加しております。なお、この変更に伴い計上した有形固定資産に対する減価償却費及び減損損失を計上したため、当第 3 四半期累計期間の営業利益及び経常利益が147,931千円、税引前四半期純利益が158,842千円減少しております。

(株主資本等関係)

当第 3 四半期累計期間(自 2024年 7 月 1 日 至 2025年 3 月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年 9 月27日 定時株主総会	普通株式	30,000	10	2024年 6 月30日	2024年 9 月30日	利益剰余金

2 基準日が当第 3 四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 3 四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第 3 四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 3 四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第 3 四半期累計期間 (自 2024年 7 月 1 日 至 2025年 3 月31日)
減価償却費	331,642千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第 3 四半期累計期間(自 2024年 7 月 1 日 至 2025年 3 月 31日)

当社は菓子小売業を主な内容として事業展開しております。なお、当社は菓子小売事業の単一セグメントであります。

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。当社売上の90%以上を店舗売上が占めていることから、店舗所在地の都府県別に分解しております。

区分	地域別	店舗所在地	売上高(千円)	構成比(%)	
	関東圏	東京都	6,061,820	33.9	
		神奈川県	3,399,865	19.0	
		埼玉県	2,469,343	13.8	
		千葉県	1,952,794	10.9	
		茨城県	278,675	1.5	
		栃木県	153,955	0.9	
		関東圏 合計		14,316,455	80.0
	中京圏	愛知県	1,277,929	7.1	
		岐阜県	217,066	1.2	
		静岡県	210,015	1.2	
		中京圏 合計		1,705,011	9.5
	関西圏	大阪府	855,559	4.8	
		三重県	393,399	2.2	
		奈良県	211,721	1.2	
		兵庫県	180,310	1.0	
		滋賀県	155,852	0.9	
		京都府	69,895	0.4	
		関西圏 合計		1,866,738	10.5
	店舗売上高	合計		17,888,205	100.0
		その他		200	0.0
	その他売上高	合計		200	0.0
顧客との契約から生じる収益			17,888,406	100.0	
その他の収益			—	—	
外部顧客への売上高			17,888,406	100.0	

(注) その他売上高は、法人販売等における売上高であります。

(セグメント情報等の注記)

当社は、菓子小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第 3 四半期累計期間 (自 2024年 7 月 1 日 至 2025年 3 月 31 日)
1 株当たり四半期純利益	105円89銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益(千円)	317,663
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	317,663
普通株式の期中平均株式数(株)	3,000,000

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。